

先日提出の「京都大学学生寄宿舍吉田寮の保存活用を 求める要請書」についての質問状

2018年7月27日

京都大学 総長 山極壽一 殿
京都大学 学生・図書館担当理事 川添信介 殿

21世紀に吉田寮を活かす元寮生の会
代表理事 奈倉道隆

理事 中尾芳治 広原盛明 亀岡哲也
富岡勝 盛田良治 稲庭篤

拝啓、私たちは、京都大学吉田寮の卒寮生でつくる「21世紀に吉田寮を活かす元寮生の会」の理事を務めております。本年6月22日に教育推進・学生支援部厚生課を通じて貴殿に提出した「京都大学学生寄宿舍吉田寮の保存活用を求める要請書」について、あらためて質問をし、文書で回答を求めます。

要請書で貴殿に、1)「吉田寮生の安全確保についての基本方針」の再検討 2)要請書の趣旨を元寮生の会より直接説明する機会の設定 3)7月6日までの文書回答—以上の3点を求めましたが、残念ながら文書による回答がありませんでした。7月12日に厚生課の窓口で課長補佐より口答で説明を受けましたが、どのような理由で回答ができないのか、どのようなかたちでその判断がなされたのか、納得できる説明はありませんでした。当会より窓口の場で以下の事項について回答するよう口答で求めましたが、これまでに文書による回答がなく、あらためて以下5点について、回答を強く求めるものです。

- 1)回答をしない理由について説明せよ
- 2)大学のどのような組織、部署で判断をしたか明らかにせよ
- 3)川添理事が要請書を読んだかどうかを明らかにせよ
- 4)山極総長が読んだかどうかを明らかにせよ
- 5)要請書を法人文書として受け取ったかどうか明らかにせよ

吉田寮の現状と今後については、学内や卒寮生にとどまらず、広く社会から関心が寄せられており、当会による要請書の提出についても新聞やテレビで報道され、大学の対応が注目されています。

川添理事は京大のホームページで、理事としてのメッセージの最後に「吉田寮老朽化の問題」に触れた上で、「以上の諸課題に対して、学内関連部局の皆さまとの意思疎通と連携を図ることはもちろん、学外の方々のご意見も伺いながら、一歩でも前進できますように微力を尽くしたいと思っています。ご協力のほどあらためてお願いします」と記されております。この間の対応は、「学外の方々のご意見も伺いながら」ことを進めるとの川添理事の言葉に反するものであり、残念というほかはありません。

あらためて「吉田寮生の安全確保についての基本方針」の再検討を求めるとともに、5点の質問事項についての回答を8月10日までに文書で求めます。

敬具